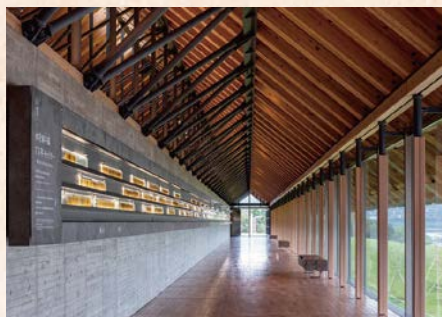




三方駅(若狭町)

三方五湖を望むレインボーライン(p22)にほど近く、先人の暮らしを知る若狭三方縄文博物館(p81)に、7万年もの地球の歴史を見える化した福井県年縞博物館(p80)など、学びの施設が揃う。

小浜駅(小浜市)

「海のある奈良」とも呼ばれ、寺社仏閣の数はかなり多い(p24、82)。それだけ海を通じての人の流れがあり、県内の伝統工芸品8つのうち2つが小浜にある(p54、55)。派生した塗り箸の国内シェアは1位を誇る。



若狭本郷駅(おおい町)

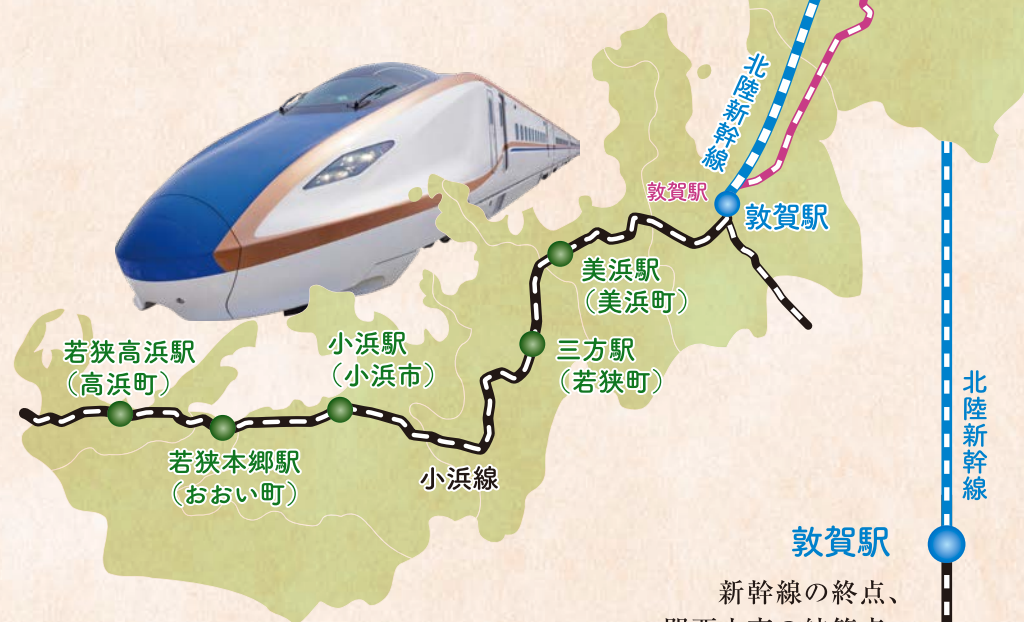
海と科学と“公園”がすべて詰まったうみんぴあエリア(p84、85)と、自然と歴史を学ぶスポット(p82、83)が点在する山に抱かれた名田庄エリアという2つの顔を持つ(p26、27)。

若狭高浜駅(高浜町)

世界で最も厳しいとされるビーチの基準「ブルーフラッグ」を、アジアの中で唯一取得し続けている高浜町(p26、27)。海を大事にする町であるところから漁業の6次産業化を目指すスポットも完成した(p84)。



小浜線



敦賀駅

新幹線の終点、関西中京の結節点、そして若狭路への玄関口



北陸新幹線の、現時点での終着駅である敦賀駅は、関西中京から伸びる特急の終着駅にもなり、古来同様、交通の要所としての存在感を高めていく。現在でもその名残が名所として点在している(p20、21)ので、交通という面での観光地巡りも面白い街。また、海山湖とさまざまな自然を有する若狭路の玄関口にもなり、鉄道やレンタカー、サイクリングロード(p86)などの交通インフラ整備もエリアを通して進んでいる。



美浜駅(美浜町)

透明度の高い水晶浜(p23)に加え、信長・秀吉・家康が一堂に会した若狭国吉城跡地(p82)があるほか、エネルギーを楽しみながら学べる施設・きいばす(p83)や三方五湖(p22)にもほど近い。



北陸新幹線

小浜線